

2月
February



パンジー

花言葉 もの思い／私を思って

水彩画のようなパンジーを束ねて
どこかノスタルジックな春のブーケ

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 切り花で出回るパンジーはとても花持ちが良く、蕾もよく咲きます。
- 茎が短い場合が多いのですが、活ける際は必ず切り戻しましょう。
- 切り花栄養剤を使用すると水が汚れにくく、花もさらに長く楽しめます!

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① あらかじめ、パンジー、ハーブゼラニウムの下葉を取り除き、スイートピーもパンジーと同じくらいの長さにカットしておきます。
- ② パンジーを数本片手に持ち、花と花がぶつからないよう茎の向きを整えます。パンジーのまわりを覆うようにゼラニウムを組み合わせます。
- ③ 全体のフォルムが丸くなるように、隙間にスイートピーを加え、全ての茎を輪ゴムか麻ヒモなどでくくり、最後に茎の長さを揃えるようにカットします。切り花栄養剤を加えた水に活ければ出来上がり! 器の口元にメッセージカードを添えてギフトにしても♪

蝶々のように、ひらひらふわり

名前の由来はフランス語の「pensée (思考)」で、花顔が考えにふける人の顔に似ているからだそう。19世紀に英国で育種が始まり現在は日本がリード、大輪八重咲きでフリルが強く、茎丈の長い切り花用パンジーが大人気。最近はエディブルフラワーとしても出回るようになり、美しい彩りと栄養価の高さでさらに注目を集めています。



使っている花 ■ パンジー、スイートピー、ハーブゼラニウム (ピターチョコ)